

2007.09.03. (月) 16:45～

@京都地裁403号法廷

ヨシノ支援プロジェクト/スクドモ
「救い難き理想主義者ども」

残暑お見舞い申し上げます。



性同一性障害医療ミス訴訟
第三回口頭弁論

リーフレット第5号
2007.08.20

第2回口頭弁論では、弁論準備のため被告側の弁護士と初の顔合わせをするというかたちになりました。弁論は短時間で終わりましたが、裁判官が次回までに「壊死がなぜ起こったのか。その説明が準備書面では不足しているの、その点を補足してください」と大阪医科大側に求めたことは特記すべきことでした。壊死の責任を回避する医科大側ですが、壊死が現実に行っている以上その理由を説明するのが医療従事者の責任であることを裁判官が考えていると理解できるのではないかと思います。今回も20名以上の支援者の方々駆けつけて下さり、関心の高さを示すことができたのではないかと思います。

ご参加頂いた皆さん、ありがとうございました。

第二回口頭弁論報告 (2007.07.19)

◇「ヨシノ支援プロジェクト」

ヨシノユギは、大阪医科大学においてGID(性同一性障害)と診断され、乳房切除を受けました。しかしその結果、医師の説明と全く異なり、患部が壊死するという医療ミスに遭ってしまいました。他にも、精神科医のフォローが受けられないなどの連携ミスによって、身心に重大な痛みを受けました。

このプロジェクトは、GID医療を問い直すために、友人たちによって結成されました。現在病院側は、一切の過失を否認しています。

尊厳と生存をかけたこの闘いに、ご理解とご支援をよろしくお願いします。

◇賛同人、カンパを募集しています

sukudomo@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/suku_domo/

口座名称:ヨシノ支援プロジェクト

口座番号:00920-1-298335

事務局メンバー：ガハクの「スクドモ的」日常」
連載第2回

